



ラムサール条約実施に関する国別報告書

2008年10月28日～11月4日に韓国で開催される
第10回締約国会議に提出される国別報告書

完成した国別報告書は、2008年3月31日までにラムサール事務局宛に電子（ワード）形式
また e-mail にて送付すること

国別報告書の送付先：Alexia Dufour, Regional Affairs Officer, Ramsar Secretariat
(dufour@ramsar.org)

SECTION 1: INSTITUTIONAL INFORMATION

セクション 1 : 制度上の情報

締約国名		日本
指定されたラムサール条約管理当局		
管理当局名	環境省自然環境局野生生物課	
管理当局長の氏名及び職名	課長 星野一昭	
住所	〒100-8975 東京都千代田区霞が関 1-2-2	
電話/ファックス	Tel: +81-3-5521-8284 / Fax: +81-3-3581-7090	
電子メール	wildlife@env.go.jp	
指定されたラムサール条約の各国担当者（または管理当局の日常的な連絡先）		
氏名及び職名	外務省国際協力局地球環境課	
住所	〒100-8919 東京都千代田区霞が関 2-2-1	
電話/ファックス	Tel: +81-3-5501-8245/ Fax: +81-3-5501-8244	
電子メール	専門調査員 葛西里沙	
STRP（科学技術検討委員会）に関連する業務の指定された各国担当者		
担当者の氏名及び職名	研究主幹 菰田 誠	
機関名	財団法人 自然環境研究センター	
住所	〒110-8676 東京都台東区下谷 3-10-10	
電話/ファックス	Tel: +81-3-5824-0955 / Fax: +81-3-5824-0956	
電子メール	mkomoda@jwrc.or.jp	
CEPA（広報、教育、普及啓発）プログラムに関連する業務の指定された政府担当者		
担当者の氏名及び職名	登録調査係長 尼子 直輝	
機関名	環境省自然環境局野生生物課	
住所	〒100-8975 東京都千代田区霞が関 1-2-2	
電話/ファックス	Tel: +81-3-5521-8284 / Fax: +81-3-3581-7090	
電子メール	NAOKI_AMAKO@env.go.jp	
CEPA（広報、教育、普及啓発）プログラムに関連する業務の指定された非政府機関担当者		
氏名及び職名	事務局長 佐々木 美貴	
機関名	特定非営利活動法人 日本国際湿地保全連合	
住所	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 3-7-3 NCC 人形町ビル 6F	
電話/ファックス	Tel: +81-3-5614-2150 / Fax: +81-3-6806-4187	
電子メール	miki_sasaki@wi-japan.org	

セクション2： 国内の実施進行状況およびチャレンジの概要

過去3年で（第9回締約国会議報告以降）

A. 条約を実施するにあたり、新しく実行したことは何ですか？

- ・条約湿地における賢明な利用及びモニタリングの現況を調査した。
- ・条約湿地の賢明な利用を促進するため、地元関係者間の連携強化を図るワークショップを開催した。
- ・湿地管理担当者を対象とした条約湿地の賢明な利用に関する研修を開催した。
- ・モデル地域として選定した条約湿地でモニタリングを実施し、モニタリングに係る現状及び課題を分析・整理した。
- ・毎年東京にて開催されている「エコライフ・フェア」において、2006年より湿地のもたらす恵みについて展示している。
- ・アジア・太平洋地域渡り性水鳥保全戦略によって進められてきた当該地域の渡り鳥保全の取り組みをさらに強化するため、2006年にWSSDタイプ2・パートナーシップとして東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップを立ち上げた。

B. 条約を実施するにあたり、最も成功したことは何ですか？

- ・COP9において新規に登録した20箇所の条約湿地を中心として、自主的な湿地保全・管理のための取り組みや全国・地方・地元レベルのネットワークの形成・拡大が進んだ。
- ・COP9でラムサール条約湿地数が倍増したことにより、ラムサール条約の普及が進んだ。

C. 条約を実施するにあたり、最も困難だったことは何ですか？

- ・Bに記載した成功事例がある一方で、COP9で新規に登録した条約湿地の中には、新たな活動を立ち上げるのが難しかったところもあった。

D. 条約の今後の実施のための提案や優先事項にはどんなものがありますか？

- ・2011年までに10箇所の湿地を新規に登録する。
- ・湿地の再生を進める。
- ・普及啓発を推進する。
- ・湿地管理担当者の能力を向上させる。

E. 条約実施に係るラムサール条約事務局からの援助に関し、締約国からの提言はありますか？

- ・条約実施に係る事例研究をしていれば情報を提供してほしい。

F. 条約実施に係るラムサール条約国際機関パートナーからの援助に関し、締約国からの提言はありますか？

特にない。

G. 国内のラムサール条約実施と、多国間環境協定、特に生物多様性関連（ラムサール条約、生物多様性条約、ボン条約、ワシントン条約、世界遺産条約）、及び砂漠化対処条約、国連気候変動枠組み条約の実施とを、どのようにうまく組み合わせられるでしょうか？

- ・ CBD に基づく生物多様性国家戦略において、ラムサール条約履行推進の考え方を記載し、国家湿地政策として位置づけている。

- ・ 第3次生物多様性国家戦略（2007年11月）に、2011年までに10箇所の湿地を新規に登録することを記載している。

H. ラムサール条約の実施と、国内の水政策（戦略）やその他の戦略（例、持続可能な開発、エネルギー、採取産業、貧困削減、衛生、食料の安全保障、生物多様性についての戦略）をどのようにうまく組み合わせられるでしょうか？

- ・ 生物多様性国家戦略において、ラムサール条約履行推進の考え方を記載し、国家湿地政策として位置づけている。

- ・ 海洋基本計画策定において、沿岸域の保全を重視した施策展開を図ることが提案されている。

I. 条約の実施について、締約国からその他の一般的なコメントがありますか？

特にない。

セクション3： 指標質問および追加的实施に関する情報

このセクションの記入方法

1. 各指標質問には、黄色のドロップダウンリストの中から該当するものを1つ選択する。
2. 各戦略について1つまたは複数の指標の情報を追加したい場合、あるいは国の当戦略の実施に関する他の事項については、各戦略の指標質問の下にある緑色の記入欄に情報を書き入れること。
3. 緑色の記入欄に書き入れた内容を修正したい場合は、別なファイルに「切り取り/貼り付け」で内容を一時保管し、修正後もう一度「切り取り/貼り付け」で内容を緑色の記入欄に戻すことを推奨する（訳者注：編集機能の制約のため）。
4. 締約国が第9回締約国会議の国別報告書にて提供した関連情報を参照しやすくするため、{x.x.x}に前回報告書の該当する指標質問の番号が用意されている。

目標 1. 湿地の賢明な利用

戦略 1.1 条約の履行、特に賢明な利用原則の適用について情報を提供し、また支援するため、湿地資源の規模及び状態を適切な地理上の規模で、記述し、評価し、モニタリングする。（日本語訳についての注釈：「wise use」については、ラムサール条約の日本語では「適正な利用」としているが、本報告書においては国内で一般的に使われている「賢明な利用」とする。）

指標質問：

<p>1.1.1 包括的な国内湿地目録がありますか？ (A-はい、B-いいえ、C- 作成中、D-計画中)</p>	<p>A</p>
<p>1.1.2 湿地目録のデータと情報が維持され、すべての利害関係者が利用できるようになっていますか？ (A-はい、B-いいえ、C-一部、D- 作成中、E-計画中)</p>	<p>A</p>
<p>1.1.3 湿地（ラムサール条約湿地および/又は湿地全般）の生態学的特徴の現状と傾向に関する情報を有していますか？ (A-はい、B-いいえ、C-数カ所は、D-計画中) 「はい」の場合、下記の追加的実施情報に。入手の連絡先、担当者名等を入力のこと)</p>	<p>A</p>
<p>1.1.4 上記 1.1.3 で「はい」の場合、この情報は、湿地の生態学的特徴の劣化に対処する必要性が、前回の3年間（COP8-COP9）よりも、高まっている、同等、低くなっているのいずれを示すものですか？</p> <p>a) ラムサール条約湿地 (A-高まっている、B-同等、C-低くなっている)</p> <p>b) 湿地全体 (A-高まっている、B-同等、C-低くなっている)</p>	<p>B B</p>

追加的実施情報（実施に係る追加情報）：

A): 指標質問 1.1.1-1.1.4 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例（1.1.3 : (追加情報)）

1.1.1：自然環境保全基礎調査による湿地調査報告書、湖沼調査報告書、干潟・藻場・サンゴ礁調査報告書が相当する。この他、ガンカモ調査報告書、『日本の重要湿地500』がある。

1.1.3：登録湿地ごとに、地形、地質、動植物相の情報をとりまとめている。入手を希望する場合は、環境省自然環境局野生生物課まで連絡のこと。

B): 戦略 1.1 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

戦略 1.2 賢明な利用原則が効果をもって確実に適用されるよう、すべての締約国が、影響評価や価値評価を含む、国家レベルあるいは超国家レベルの政策、法律、制度や実践を策定し、見直し、必要に応じて修正して、実施する。また、出来るならば、湿地の賢明な利用を確実なものにするため各締約国が講じる適切な政策手段を特定する。

指標質問：

1.2.1 国内湿地政策（または相当するもの）がある。 (A- はい、B-いいえ、C-一部、D- 計画中 条件を満たす湿地を全て指定済) (「はい」の場合、下記追加的实施情報（実施に係る追加情報）に政策名と制定日時を記入する。)	A
1.2.2 国内湿地政策（または相当するもの）は、WSSD（持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルク・サミット））目標及び行動を盛り込んでいますか？ (A- はい、B-いいえ、C-一部、D- 計画中)	C
1.2.3 湿地問題は、持続可能な開発のための国家戦略（WSSD によって要求された貧困削減計画及び水資源管理、水効率化計画を含む）に盛り込まれていますか？ (A-はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中、 E-Not applicable 該当しない)	B
1.2.4 Has the quantity and quality of water available to, and required by, wetlands been assessed? ——湿地が利用可能な、もしくは必要とする水量及び水質は調べられていますか？ (A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、 D-In-Progress 作業中、E-Planned 計画中、)	C
1.2.5 Are Strategic Environmental Assessment practices applied when reviewing policies, programmes and plans that may impact upon wetlands? (2.2.2) ——湿地に影響を与える政策、プログラムや計画を見直す際に、戦略的環境アセスメント手法を適用していますか？ (A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)	D

Additional implementation information:

追加的实施情報（実施に係る追加情報） ∴

~~A): on Indicators 1.2.1 – 1.2.5 For each piece of additional information text, please clearly identify to which indicator number it refers – e.g. “1.2.3: [.. additional information ...]”~~

A): 指標質問 1.2.1-1.2.5 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例（1.2.3：(追加情報)）

1.2.1：2007年に策定された第3次生物多様性国家戦略において、湿地保全に関わる理念や目標、具体的な行動が掲げられている。当該戦略において、WSSD目標及び行動についても一部盛り込んでいる。

~~In the 3rd National Biodiversity Strategy formulated in 2007, concepts, goals, and concrete activities concerning wetland conservation are described. WSSD goals and activities are also partly included in the Strategy.~~

1.2.4：釧路湿原において、自然再生事業の一環として、水質・水量に関する調査を実施している。また、漫湖においても、鳥獣保護区における保全事業の一環で水質等を調査している。

~~At Kushiro-shitsugen, researches on the quality and quantity of water are conducted as part of the Nature Restoration Project. Moreover, a conservation project conducted in the wildlife protection area of Manko includes investigations on the water quality.~~

1.2.5：事業の位置・規模等の検討段階における戦略的環境アセスメントの共通的な手続、評価方法等を示した戦略的環境アセスメント導入ガイドライン（2007年3月）を取りまとめた。同ガイドラインでは、評価項目の一つとして「動物・植物・生態系」を掲げるとともに、考慮すべき地域特性の参考例としてラムサール条約登録湿地等を掲げている。

現在、同ガイドラインを踏まえて、戦略的環境アセスメントの実施に向けた取組を開始したところである。

~~In March 2007, guidelines are developed for the introduction of Strategic Environmental Assessment that describes the common procedures and evaluation methods for such assessment at the site location and/or scale reviewing stage of the project. The guidelines put “animals/plants/ecosystem” as one of the evaluation items, and being a Ramsar site is cited as a case example of regional characteristics to be considered. At present, an approach to implement a strategic environmental assessment has just started based on the guidelines.~~

B): on any other aspects of Strategy 1.2 national implementation:

B): 戦略 1.2 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

STRATEGY 1.3: *Increase recognition of the significance of wetlands for reasons of water supply, coastal protection, flood defence, climate change mitigation, food security, poverty reduction, cultural heritage, and scientific research, with a focus on under-represented ecosystem types, through developing and disseminating methodology to achieve wise use of wetlands.*

戦略 1.3 十分に代表されていない生態系タイプに焦点を合わせつつ、湿地の賢明な利用を達成するための方法論を開発し普及させることにより、水の供給、沿岸保護、洪水防止、気候変動の影響緩和、食料安全保障、貧困削減、文化遺産及び科学研究における湿地の重要性に対する認識を高める。

Indicator questions:

指標質問:

<p>1.3.1 Has an assessment been conducted of the ecosystem benefits/services provided by Ramsar sites? (3.3.1)</p> <p>——ラムサール条約湿地からもたらされる生態系の恩恵/サービスについて評価を行ったか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-In Progress 作業中、E-Planned 計画中、)</p> <p>[If “Yes” or “Partly”, please indicate in the Additional implementation information below, the year of assessment and from where or from whom this information can be obtained]</p> <p>(もし「はい」あるいは「一部」の場合、下記追加実地情報に評価年、当該情報の入手先につき明記すること。)</p>	A
<p>1.3.2 Have wise use wetland programmes and/or projects that contribute to poverty alleviation objectives and/or food and water security plans been implemented? (3.3.4)</p> <p>——貧困削減の目的および/あるいは食料と水の安全保障計画に貢献できるような湿地の賢明な利用のプログラムおよび/あるいはプロジェクトが実施されてきましたか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-In Progress 作業中、E-Planned 計画中、F-Not Applicable 該当しない)</p>	B
<p>1.3.3 Has national action been taken to implement the Guidelines for Global Action on Peatlands (Resolution VIII.17)? (3.2.4)</p> <p>——国レベルで「泥炭地に関する地球的行動のためのガイドライン」（決議VIII.17）を実施するための行動を行いましたか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中、E-Not Appreciable 該当しない)</p>	A
<p>1.3.4 Has national action been taken to apply the guiding principles on cultural values of wetlands (Resolutions VIII.19 and IX.21)? (3.3.3)</p> <p>——国レベルで「湿地の文化的価値についての基本原則」（決議VIII.19 およびIX.21）を実施するための行動を行ったか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)</p>	C

Additional implementation information:

追加的実施情報（実施に係る追加情報） :

~~A): on Indicators 1.3.1—1.3.4 For each piece of additional information text, please clearly identify to which indicator number it refers — e.g. “1.3.3: [.. additional information ...]”~~

A): 指標質問 1.3.1-1.3.4 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例（1.3.3：（追加情報））

1.3.1：ラムサール条約湿地の漁業、農業、観光等の利用状況を取りまとめ、ラムサール条約湿地の賢明な利用の普及啓発を図るパンフレットに掲載した。

~~The statuses of fishing, agriculture, sightseeing, etc. in Ramsar sites were compiled and introduced in the brochure promoting wise use of Ramsar sites.~~

1.3.3：釧路湿原及びサロベツ原野において、泥炭地を保全・再生する自然再生事業を実施している。

~~Nature restoration projects are implemented at Kushiro-shitsugen and Sarobetsu-nya to conserve and restore peatlands.~~

1.3.4 : 「杉沢の沢スギ」、「鳥海山獅子ヶ鼻湿原植物群落及び新山溶岩流末端崖と湧水群」等の天然記念物や「利根川・渡良瀬川合流域の水場景観」「柳川の水郷景観」等について、文化的価値の調査及び管理方法の検討等を行う事業の実施に関し、継続的に補助を行っている。また、「大山の千枚田」「稲美のため池群」等の文化的景観について、文化的価値の調査及び管理方法の検討を行うモデル事業を実施した。さらに、「近江八幡の水郷」「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」等を重要文化的景観に選定した。

~~There is continuous financial support for the research projects on cultural values and management methods of wetlands designated as Natural Monuments, including “Sugisawa no Sawa-Sugi (Sugi-swamp forest at Sugisawa)” and “Plant communities around Shishigahana moor, terminal-cliff of Shinzan-lava and cold springs from lava at Volcano Mt. Chokai,” and of landscapes including “Landscape of waterfront at the confluence of the Tone River and Watarase River” and “Landscape of creeks in Yanagawa.” In addition, pilot research projects on cultural values and management methods have been implemented in wetlands with cultural landscapes such as “Oyama-Senmaida” and “Inami-Reservoirs.” Furthermore, “Suigo Area of Omi-hachiman” and “Cultural Landscape of the Saru River basin influenced by Ainu traditions and modern pioneers,” etc. were selected as Important Cultural Landscapes in Japan.~~

~~B): on any other aspects of Strategy 1.3 national implementation:~~

B): 戦略 1.3 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

~~**STRATEGY 1.4:** Integrate policies on the conservation and wise use of wetlands in the planning activities in all Contracting Parties and in decision-making processes at national, regional, provincial and local levels, particularly concerning territorial management, groundwater management, catchment/river basin management, coastal and marine zone planning, and responses to climate change, all in the context of implementing Integrated Water Resources Management (IWRM).~~

戦略 1.4 統合的水資源管理 (IWRM) の実施の観点から、特に領土管理、地下水管理、集水域・河川流域管理、沿岸及び海域計画策定、気候変動対策などに関するすべての締約国の計画策定に、また国、地域、州および地方レベルでの意思決定過程に、湿地の保全と賢明な利用の政策を組み入れる。

Indicator questions:

指標質問

<p>1.4.1 Has the Convention's water-related guidance (see Resolution IX.1, Annex C) been used/applied in decision-making related to water resource planning and management? (3.4.2—r3.4.xiv)</p> <p>——ラムサール条約の水関連ガイダンス（決議IX.1 附属書 C 参照のこと）は水資源計画および管理に関連する意思決定に使用/適用されていますか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)</p>	<p>A</p>
<p>1.4.2 Have CEPA expertise and tools been incorporated into catchment/river basin planning and management?</p> <p>——CEPA（広報・教育・普及啓発）の専門的知識やツールが集水域・河川流域計画および管理に盛り込まれていますか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)</p>	<p>A</p>

<p>1.4.3 Has the Convention's guidance on wetlands and coastal zone management (Annex to Resolution VIII.4) been used/applied in Integrated Coastal Zone Management (ICZM) planning and decision-making? (3.4.5)</p> <p>——湿地と沿岸域管理に関するラムサール条約のガイダンス（決議VIII.4の附属書）を、統合的沿岸域管理(ICZM)の計画立案および意思決定に使用/適用しましたか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中、E-Not Appreciable 該当しない)</p>	D
<p>1.4.4 Have the implications for wetland conservation and wise use of national implementation of the Kyoto Protocol been assessed? (3.4.9)</p> <p>——京都議定書の国内実施が湿地保全と賢明な利用に与える影響を評価したか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中、E-Not Applicable 該当しない)</p>	B

Additional implementation information:

追加的実施情報（実施に係る追加情報） :

~~A): on Indicators 1.4.1—1.4.4 For each piece of additional information text, please clearly identify to which indicator number it refers—e.g. “1.4.3: [.. additional information ...]”~~

A): 指標質問 1.4.1-1.4.4 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例（1.4.3 : (追加情報)）

1.4.2 : 釧路湿原を始めとする河川、湿原、干潟等の湿地で実施されているほとんどの自然再生事業の自然再生計画に環境教育の推進が盛り込まれている。

~~Promotion of environmental education has been incorporated into nature restoration plans of most nature restoration projects implemented in such wetlands as rivers, moors, and tidal flats, including Kushiro-shitsugen.~~

1.4.3 : 2007年4月に策定された海洋基本法において、海洋に関する政策の基本となる事項の一つとして、自然的社会的条件から見て一体的に施策が講ぜられることが相当と認められる沿岸の海域及び陸域について、適切な管理のため総合的に必要な措置を講ずることと規定している。同法に基づき、講ずべき施策等を定める海洋基本計画を現在作成している。

~~“Basic Act on Ocean Policy” formulated in April 2007 prescribes that integrated necessary measures should be taken to appropriately manage coastal ocean areas and land areas which need implementation of an integrated policy in view of the natural and social conditions.—Based on this Act, Basic Plan on Ocean Policy which provides the policies to be implemented is now in process of creation.~~

~~B): on any other aspects of Strategy 1.4 national implementation:~~

B): 戦略 1.4 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

STRATEGY 1.5: ~~Identify priority wetlands where restoration or rehabilitation would be beneficial and yield long-term environmental, social or economic benefits, and implement the necessary measures to recover these sites.~~

戦略 1.5 再生と回復をすることが有益であり、環境、社会及び経済面で長期的な利益を生じるような優先順位の高い湿地を特定し、その再生に必要な措置を講じる。

Indicator questions:

指標質問：

<p>1.5.1 Have wetland restoration/rehabilitation programmes or projects been implemented? (4.1.2)</p> <p>— 湿地の再生/回復プログラムまたはプロジェクトが実施されましたか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C- Planned 計画中)</p> <p>[If “Yes”, please identify any major programmes or projects in Additional implementation information]</p> <p>もし「はい」の場合、下記追加の実施情報（実施に係る追加情報）に主要なプログラムあるいはプロジェクトを特定し書き入れること。</p>	A
<p>1.5.2 Has the Convention’s guidance on wetland restoration (Annex to Resolution VIII.16; Wise Use Handbook 15, 3rd edition) been used/applied in designing and implementing wetland restoration/rehabilitation programmes or projects? (4.1.2)</p> <p>— 湿地の再生/回復プログラムまたはプロジェクトの実施において、ラムサール条約湿地再生ガイダンス（決議VIII.16の附属書「賢明な利用ハンドブック」第15巻第3版）を使用/適用しましたか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)</p>	C

Additional implementation information:

追加の実施情報（実施に係る追加情報）:)

~~A): on Indicators 1.5.1 – 1.5.2 For each piece of additional information text, please clearly identify to which indicator number it refers – e.g. “1.5.2: [.. additional information ...]”~~

A): 指標質問 1.5.1-1.5.2 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例（1.5.2: (追加情報)）

1.5.1: 釧路湿原、サロベツ原野、蒲生干潟、石西礁湖を含む河川、湿原、干潟、サンゴ礁等において自然再生事業を実施している。また、串本において、サンゴ群集の保全を行っている。

~~Nature restoration projects are implemented in such wetlands as rivers, moors, tidal flats, and lagoons, including Kushiro-shitsugen, Sarobetsu- genya, Gamoo Tidal Flat, Sekisei Lagoon Lake. In addition, coral communities are conserved in Kushimoto.~~

1.5.2: 釧路湿原を含む河川、湿原、干潟等の湿地で実施されているほとんどの自然再生事業は、行政・専門家・NPO・地域住民等の多様な主体の参画を得ながら実施されている。

~~Various stakeholders such as governments, experts, NPOs and local people are engaged in most nature restoration projects that have been conducted in such wetlands as rivers, moors and tidal flats, including Kushiro-shitsugen.~~

B): on any other aspects of Strategy 1.5 national implementation:

B): 戦略 1.5 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

STRATEGY 1.6: ~~Develop guidance and promote protocols and actions to prevent, control or eradicate invasive alien species in wetland systems.~~

戦略 1.6 湿地系への侵略的外来種の侵入を防止、抑制または根絶するための手引きを作成し、標準的な手順と行動を促進する。

Indicator questions:

指標質問 :

<p>1.6.1 Have national policies, strategies and management responses to threats from invasive species, particularly in wetlands, been developed and implemented? {r5.1.iii}</p> <p>——特に湿地における侵略的外来種の脅威に対応する国内政策、戦略、及び管理措置が策定され、実施しましたか？ (A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)</p>	C
<p>1.6.2 Have such policies, strategies and management responses been carried out in cooperation with the focal points of other conventions and international organisations/processes? {r5.1.iii}</p> <p>——侵略的外来種に関連するそのような政策、戦略及び管理措置が他の条約及び国際機関/プロセスの担当窓口と協力して実施されたか？ (A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)</p>	C

Additional implementation information:

追加的实施情報（実施に係る追加情報） :

~~A): on Indicators 1.6.1 – 1.6.2 For each piece of additional information text, please clearly identify to which indicator number it refers – e.g. “1.6.2: [.. additional information ...]”~~

A): 指標質問 1.6.1-1.6.2 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例（1.6.2 : (追加情報)）

1.6.1 : 2004年6月に制定された「特定外来生物による生態系等に関する被害の防止に係る法律」に基づき、特に影響の大きい侵略的外来種について、輸入や国内流通の規制を行うとともに、国内の野外に存する特定外来生物についてはその制御・駆除を実施している。

~~Based on the “Invasive Alien Species Act” enacted in June 2004, import and distribution of invasive alien species, which have significant adverse effects on ecosystems, have been restricted, and control and eradication measures against invasive alien species in the field in Japan have been conducted.~~

~~B): on any other aspects of Strategy 1.6 national implementation:~~

B): 戦略 1.6 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

1.6.1 : ラムサール条約湿地では、伊豆沼・内沼、片野鴨池、琵琶湖、くじゅう坊ガツル・タデ原湿原及び藪牟田池において、侵略的外来種の駆除を実施している。

~~Control and eradication measures against invasive alien species are conducted in Ramsar sites such as Izu-numa and Uchi-numa, Katano-kamoike, Biwa-ko, Kuju-Bogatsuru and Tadewara-shitsugen, and Imuta-ike.~~

GOAL 2. WETLANDS OF INTERNATIONAL IMPORTANCE

目標 2. 国際的に重要な湿地

STRATEGY 2.1 *Apply the Strategic Framework and guidelines for the future development of the List of Wetlands of International Importance (Handbook 7, 2nd edition; Handbook 14, 3rd edition)*

戦略 2.1 「国際的に重要な湿地のリストを将来的に拡充するための戦略的枠組み及びガイドライン」(ラムサール賢明な利用ハンドブック第7巻)を適用する。

Indicator questions:

指標質問 :

2.1.1 ~~Have a strategy and priorities been established for any further designation of Ramsar sites, using the Strategic Framework for the Ramsar List? (10.1.1)~~

——ラムサール条約湿地リストのための戦略的枠組みを用いて、ラムサール条約湿地を増やすための戦略及び優先事項が確立されたか？

(A-~~Yes~~ はい、B-~~No~~ いいえ、C-~~Partly~~ 一部、D-~~Planned~~ 計画中
E-~~All sites qualifying already designated~~ すべての適正湿地を指定済)

~~{If further Ramsar site designations are planned, please indicate in Additional implementation information, the number of sites and anticipated year of designation}~~

ラムサール条約湿地を増やすことを計画している場合は、下記追加的実施情報（実施に係る追加情報）に登録するつもり湿地数および予定登録年を記入のこと。

A

Additional implementation information:

追加的実施情報（実施に係る追加情報） :

A): on Indicator 2.1.1

A): 指標質問 2.1.1.1について

2.1.1 : 第3次生物多様性国家戦略において、2011年までに条約湿地を10箇所増やすことを目標として掲げている。

~~The target of designating 10 additional sites by 2011 is described in the 3rd National Biodiversity Strategy in Japan (November 2007).~~

B): on any other aspects of Strategy 2.1 national implementation:

B): 戦略 2.1 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

STRATEGY 2.2 *Maintain the Ramsar Sites Information Service and constantly update it with the best available information, and use the Ramsar Sites Database as a tool for guiding the further designation of wetlands for the List of Wetlands of International Importance.*

戦略 2.2 「条約湿地情報サービス」の保守を行い、絶えず最新の情報によって更新する。また、「条約湿地データベース」を、国際的に重要な湿地リストにさらに湿地を指定する際の指針ツールとして活用する。

Indicator questions:

指標質問 :

<p>2.2.1 Have all required updates of the Information Sheet on Ramsar Wetlands been submitted to the Ramsar Secretariat? (10.2.3)</p> <p>—ラムサール条約湿地について求められていた情報票の更新版はすべて条約事務局に提出されましたか？ (A-Yes はい、B-No いいえ)</p>	B
<p>2.2.2 Are the Ramsar Sites Information Service and its database used in national implementation of the Convention concerning Ramsar site issues?</p> <p>-ラムサール条約湿地の課題に関わる条約の国内履行にあたって、ラムサール条約湿地情報サービスやデータベースを活用していますか？ (A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)</p>	A

Additional implementation information:

追加的实施情報（実施に係る追加情報） :

~~A): on Indicators 2.2.1—2.2.2 For each piece of additional information text, please clearly identify to which indicator number it refers—e.g. “2.2.1: [.. additional information ...]”~~

A): 指標質問 2.2.1-2.2.2 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例（2.2.1：（追加情報））

2.2.1：COP10 までに、条約湿地に係る自治体などの協力を得て、更新できていない RIS を更新する予定である。

~~All required updates of the Ramsar Information Sheets will be submitted by COP10 in cooperation with relevant local governments and others.~~

~~B): on any other aspects of Strategy 2.2 national implementation:~~

B): 戦略 2.2 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

STRATEGY 2.3 Maintain the ecological character of all Ramsar sites.

戦略 2.3 すべての条約湿地の生態学的特徴を維持する。

Indicator questions:

指標質問 :

<p>2.3.1 Have the measures required to maintain the ecological character of all Ramsar sites been defined and applied? (11.1.1)</p> <p>— 総てのラムサール条約湿地の生態学的特徴を維持するために必要な方策が明確化され、適用されてきましたか？ (A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Defined only 明確化のみ、E-Planned 計画中)</p>	A
--	---

2.3.2 Have management plans/strategies been developed and implemented at all Ramsar sites? (11.1.2)

—— 総てのラムサール条約湿地で、管理計画および戦略が策定され実行されましたか？

(A-**Yes** はい、B-**No** いいえ、C-**Some sites** 数カ所、D-**Planned** 計画中)

[If “Yes” or “Some sites”, please indicate, in Additional implementation information below, for how many sites have plans/strategies been developed but not implemented; for how many are plans/strategies in preparation; and for how many are plans/strategies being reviewed or revised]

(「はい」あるいは「数カ所」の場合、下記追加情報に策定されたが実施されていない湿地数、および準備段階の計画/戦略数、見直し/修正された管理計画/戦略数を記入のこと)

A

2.3.3 Have cross-sectoral site management committees been established at Ramsar sites? (11.1.5)

—— 条約湿地において、部門横断的な湿地管理委員会が設立されましたか？

(A-**Yes** はい、B-**No** いいえ、C-**Some sites** 数カ所、D-**Planned** 計画中)

[If “Yes” or “Some sites”, please name the sites in Additional implementation information]

(「はい」あるいは「数カ所」の場合、下記追加的実施情報（実施に係る追加情報）に湿地名を記入のこと。)

C

2.3.4 Has any assessment of Ramsar site management effectiveness been carried out?

—— ラムサール条約湿地管理の有効性につき評価を行いましたか？

(A-**Yes** はい、B-**No** いいえ、C- **Some sites** 数カ所、D-**Planned** 計画中)

[if “Yes” or “Some sites”, please indicate in Additional implementation information below the year of assessment and from whom, or from where, the information is available]

(「はい」あるいは「数カ所」の場合、下記追加的実施情報（実施に係る追加情報）に評価実施年および誰から、もしくはどこからその情報が入手可能かを記入のこと。)

A

Additional implementation information:

追加的実施情報（実施に係る追加情報） :

A): on Indicators 2.3.1—2.3.4 For each piece of additional information text, please clearly identify to which indicator number it refers — e.g. “2.3.3: [.. additional information ...]”

A): 指標質問 2.3.1-3.4 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例 (2.3.3 : (追加情報))

2.3.1 : 鳥獣保護法や自然公園法をはじめ、国レベルの地域指定制度を適用することにより、湿地の保全管理を進めている。

~~Conservation and management of Ramsar sites are ensured by applying the zoning system based on the national legislations for nature conservation such as “Wildlife Protection and Appropriate Hunting Law” and “Natural Parks Law”.~~

2.3.2 : わが国では、すべてのラムサール条約湿地が国立・国定公園及び（あるいは）国指定鳥獣保護区特別保護地区に指定されている。これらの地域では、湿地の保全管理は自然公園の公園計画あるいは鳥獣保護区の指定計画に基づき行われており、これらの計画は直接的に条約の「管理計画策定ガイドライン」に基づいて策定されるものではない。ただし、国指定鳥獣保護区の管理計画の策定に同ガイドラインを活用した事例もあり、計画策定の参考となり得る。なお、その他に、関係自治体により、条約湿地に係る保全管理計画が策定されている事例もある。

~~In Japan, all Ramsar sites are designated as National or Quasi-National Parks and/or Special Protection Zone of Wildlife Protection Areas. Within these designated areas, wetland conservation and management are conducted based on Park Plans of Natural Parks and Designation Plans for Wildlife Protection Areas, and these plans were not developed directly based on the Convention's New Guidelines for management planning. However, there are some cases that the guidelines were used for developing management plans for Wildlife Protection Areas and they may be used as reference when drawing up such management plans. In addition, there are some cases that conservation and management plans concerning Ramsar sites have been formulated by relevant local governments.~~

2.3.3 : 釧路湿原、サロベツ原野及び中海では、地域の多様な主体の参加を得て、自然再生推進法に基づく自然再生協議会が設立されている。

また、クッチャロ湖、濤沸湖、風蓮湖・春国岱、仏沼、伊豆沼・内沼、佐潟、片野鴨池、蕪栗沼、藤前干潟、琵琶湖、くじゅう坊ガツル・タデ原湿原等において、湿地保全のための協議会や委員会が設置されている。

~~At Kushiro-shitsugen, Sarobetsu-genya and Nakaumi, Nature Restoration Committees based on “Law for the Promotion of Nature Restoration” were established with the involvement of various local sectors. Moreover, committees or councils for wetlands conservation have been established at several Ramsar sites including Kutcharo-ko, Tofutsu-ko, Furen-ko and Shunkuni-tai, Hotokenuma, Izu-numa and Uchi-numa, Sakata, Katano-kamoike, Kabukuri-numa and the surrounding rice paddies, Fujimae-higata, Biwa-ko, and Kuju Bogatsuru and Tadewara-shitsugen.~~

2.3.4 : 2006年度に、各条約湿地に対して、モニタリング、賢明な利用及び普及啓発の現状についてアンケート調査を行った。入手を希望する場合は、環境省自然環境局野生生物課まで連絡のこと。

~~In 2006, statuses of monitoring, wise use, and CEPA activities were surveyed for all Ramsar sites by questionnaire. Contact Wildlife Division, Nature Conservation Bureau, Ministry of the Environment of Japan for requesting copies of the questionnaire results.~~

B): on any other aspects of Strategy 2.3 national implementation:

B): 戦略 2.3 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

STRATEGY 2.4 *Monitor the condition of Ramsar sites, notify the Ramsar Secretariat without delay of changes affecting Ramsar sites as required by Article 3.2, and apply the Montreux Record and Ramsar Advisory Mission as tools to address problems.*

戦略 2.4 条約湿地の状況をモニタリングし、条約第 3 条 2 項に規定されているとおり、条約湿地に影響を与える変化について遅滞なく条約事務局に通知し、また問題対処の手段として、モントルーレコード並びにラムサール諮問調査団（RAM : Ramsar Advisory Mission）を適用する。

Indicator questions:

指標質問 :

<p>2.4.1 Are arrangements in place for the Administrative Authority to be informed of changes or likely changes in the ecological character of Ramsar sites, pursuant to Article 3.2? (r11.2.iv)</p> <p>——ラムサール条約湿地における生態学的特徴の変化、または起こりそうな変化を、条約第 3 条 2 項に従って管理当局に通知する手配がなされていますか。</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Some sites 数カ所、D-Planned 計画中)</p> <p>{If “Yes” or “Some sites”, please summarise the mechanism(s) established in Additional implementation information}</p> <p>（「はい」あるいは「数カ所」の場合、下記追加の実施情報（実施に係る追加情報）に仕組みを要約（記入）のこと。）</p>	A
<p>2.4.2 Have all cases of change or likely change in the ecological character of Ramsar sites been reported to the Ramsar Secretariat, pursuant to Article 3.2,? (11.2.4)</p> <p>——ラムサール条約湿地における生態学的特徴の変化、または起こりそうな変化に関し総て、条約第 3 条 2 項に従ってラムサール事務局に報告されていますか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Some cases 一部)</p> <p>{If “Yes” or “Some sites”, please indicate in Additional implementation information below for which Ramsar sites Article 3.2 reports have been made by the Administrative Authority to the Secretariat, and for which sites such reports of change or likely change have not yet been made}</p> <p>（「はい」あるいは「数カ所」の場合、下記追加の実施情報に、どの条約湿地に関し条約第 3 条 2 項に従って管理当局から条約事務局に報告されたか、またどの条約湿地に関し変化または起こりそうな変化の報告がなされていないのかを明記する。）</p>	B
<p>2.4.3 If applicable, have actions been taken to address the issues for which Ramsar sites have been listed on the Montreux Record? (r11.2.viii)</p> <p>——該当する場合に、ラムサール条約湿地がモントルー・レコードに記載される根拠となった問題に対して、対策が講じられましたか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Not applicable 該当しない)</p> <p>{If “Yes” or “Partly”, please provide in Additional implementation information information about the actions taken}</p> <p>（「はい」あるいは「一部」の場合、下記追加の実施情報（実施に係る追加情報）に講じられた方策に関し記入のこと。）</p>	D

Additional implementation information:

追加的実施情報（実施に係る追加情報） :

~~A): on Indicators 2.4.1—2.4.3 For each piece of additional information text, please clearly identify to which indicator number it refers —e.g. “2.4.3: [.. additional information ...]”~~

A): 指標質問 2.4.1-2.4.3 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例（2.4.3 : (追加情報)）

2.4.1 : 各湿地を管轄する地方環境事務所が管理当局に連絡する。

また生物多様性センターが、湖沼、干潟、サンゴ礁等の湿地を対象に含める自然環境保全基礎調査やモニタリングサイト1000の結果を管理当局に報告する。

~~Regional Environment Offices of Ministry of the Environment that have jurisdiction over respective Ramsar sites will inform the Administrative Authority. Biodiversity Center of Japan will also inform the Administrative Authority of the results of Japan’s National Survey of the Natural Environment for wetlands including lakes, tidal flats, and coral reefs and of the results of “Monitoring Sites 1000.”~~

~~B): on any other aspects of Strategy 2.4 national implementation:~~

B): 戦略 2.4 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

~~**STRATEGY 2.5** Promote inventory and integrated management of shared wetlands and hydrological basins, including cooperative monitoring and management of shared wetland-dependent species.~~

戦略 2.5 隣国と共有する湿地に依存する生物種のモニタリングと管理のための協力を含め、国境をまたぐ湿地と集水域の目録及び統合的管理を促進する。

Indicator questions:

指標質問 :

~~2.5.1 Have all transboundary/shared wetland systems been identified? (12.1.1)~~

— すべての複数国にまたがる湿地又は各国が共有する湿地は特定されましたか？

(A-~~Yes~~ はい、B-~~No~~ いいえ、C-~~Partly~~ 一部、D-~~Not applicable~~ 該当しない)

D

~~2.5.2 Is effective cooperative management in place for shared wetland systems (including regional site and waterbird flyway networks)? (12.1.2; 12.2.2)~~

— 各国が共有する湿地（地域湿地ネットワークや水鳥フライウェイネットワークを含む）は、効果的に共同管理されているか？

(A-~~Yes~~ はい、B-~~No~~ いいえ、C-~~Partly~~ 一部、D-~~Planned~~ 計画中、E-~~Not applicable~~ 該当しない)

~~{If “Yes” or “Partly”, please indicate in Additional implementation information below for which wetland systems such management is in place}~~

「はい」あるいは「一部」の場合、下記追加的実施情報（実施に係る追加情報）にどの湿地にそのような管理が行われているのか明記する。）

D

Additional implementation information:

追加的実施情報（実施に係る追加情報） :

~~A): on Indicators 2.5.1 – 2.5.2 For each piece of additional information text, please clearly identify to which indicator number it refers — e.g. “2.5.1: [.. additional information ...]”~~

A): 指標質問 2.5.1-2.5.2 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例（2.5.1：(追加情報)）

2.5.2：東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップにおいて、水鳥及びその生息地である湿地の保全のための共同事業を検討している。

~~Within the framework of the Partnership for the East Asian-Australasian Flyway, joint projects for conservation of waterbirds and wetlands as their habitat are considered.~~

~~B): on any other aspects of Strategy 2.5 national implementation:~~

B): 戦略 2.5 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

~~STRATEGY 2.6 Support existing regional arrangements under the Convention and promote additional arrangements:~~

戦略 2.6 条約のもとにある現行の地域協定を支持し、さらなる協定を促進する。

Indicator questions:

指標質問 :

~~2.6.1 Has the Contracting Party been involved in the development of a regional initiative under the framework of the Convention? (12.3.2)~~

—— 締約国は条約の枠組みの下、地域的取組の策定に取り組ましましたか？

(A-~~Yes~~ はい、B-~~No~~ いいえ、C-~~Planned~~ 計画中)

~~_(If “Yes” or “Planned”, please indicate in Additional implementation information below the name(s) and collaborating countries of each regional initiative)~~

「はい」あるいは「計画中」の場合、下記追加的实施情報（実施に係る追加情報）に各地域取組の名称と協力国名を記入のこと。）

A

Additional implementation information:

追加的实施情報（実施に係る追加情報） :

~~A): on Indicator 2.6.1~~

A): 指標質問 2.6.1.について

2.6.1：アジア・太平洋地域渡り性水鳥保全戦略によって進められてきた当該地域の渡り鳥保全の取り組みをさらに強化するため、WSSDタイプ2・パートナーシップ（各国政府、国際機関、NGO等が自主的に参加する取組）として東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップを立ち上げた。協力国は、豪州、インドネシア、日本、ミャンマー、フィリピン、韓国、米国、ロシア、シンガポール、カンボジアである。

~~The Partnership for East Asian – Australasian Flyway was established as a WSSD type 2 Partnership in 2006 in order to further promote conservation of migratory waterbirds in the region, which had been originally promoted under the Asia – Pacific Migratory Waterbird Conservation Strategy. Government Partners include Australia, Indonesia, Japan, Myanmar, Philippines, Korea, U.S.A., Russia, Singapore, and Cambodia.~~

~~B): on any other aspects of Strategy 2.6 national implementation:~~

B): 戦略 2.6 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

GOAL 3. INTERNATIONAL COOPERATION

目標 3. 国際的な協力

STRATEGY 3.1 ~~Collaboration with other institutions: Work as partners with international and regional multilateral environmental agreements (MEAs) and other agencies.~~

戦略 3.1 他の組織との協調：国際的、地域的な多国間環境協定（MEA）やその他の機関とパートナーとして協働する。

Indicator questions:

指標質問：

<p>3.1.1 Are mechanisms in place at the national level for collaboration between the Ramsar Administrative Authority and the focal points of other multilateral environmental agreements (MEAs)? {13.1.1}</p> <p>——ラムサール条約担当政府機関と他の多数国間環境協定 (MEAs) の担当窓口との連携のための国レベルの仕組みがありますか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)</p>	B
<p>3.1.2 Are the national focal points of other MEAs invited to participate in the National Ramsar/Wetland Committee? {13.1.iii}</p> <p>——多国間環境協定の国の担当窓口は、国内のラムサール条約/湿地委員会に参加を要請されましたか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中、E-Not applicable 該当しない)</p>	B
<p>3.1.3 [For African Contracting Parties only] Has the Contracting Party participated in the implementation of the wetland programme under NEPAD? {13.1.6}</p> <p>(アフリカの締約国のみ回答) 締約国はアフリカ開発のための新パートナーシップ (NEPAD) に基づく湿地プログラムの実施に関与しましたか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中、E-Not applicable 該当しない)</p>	E

Additional implementation information:

追加的実施情報（実施に係る追加情報）：

~~A): on Indicators 3.1.1 – 3.1.3 For each piece of additional information text, please clearly identify to which indicator number it refers – e.g. “3.1.3: [.. additional information ...]”~~

A): 指標質問 3.1.1-3.1.3 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例 (3.1.3 : (追加情報))

3.1.3 : わが国は、アフリカ開発会議（TICAD）プロセスにおいて、多くの点で TICAD と理念を共有する NEPAD への支援にコミットしている。

~~Japan commits to support NEPAD, which shares the same concepts with the processes of the Tokyo International Conference on Africa Development (TICAD).~~

B): on any other aspects of Strategy 3.1 national implementation:

B): 戦略 3.1 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

わが国では、ラムサール条約と関連する各種条約との間の連携・調整のための省庁間の仕組みは有していないが、外交当局である外務省地球環境課において、多数国間環境条約を一括して所掌しているほか、他の多数国間環境協定（MEAs）の担当部局へ適宜情報を提供し、必要に応じて協議、調整を行っている。

また、生物多様性条約に基づく生物多様性国家戦略に関する省庁間連絡会議が設置され、生物多様性保全に係る連携・調整が図られている。

~~In Japan, instead of establishing an inter-ministerial committee for coordinating Ramsar Convention and other Conventions concerned, Global Environment Division of Ministry of Foreign Affairs as a diplomatic authority administers all multilateral environmental conventions/agreements (MEAs) en bloc. Also, consultation and coordination is undertaken among the relevant Focal Points of other MEAs by providing information as necessary. Inter-Ministerial Coordinating Committee for implementation of the National Biodiversity Strategy of Japan under the CBD was established, and consultation and coordination regarding actions on biodiversity conservation are implemented through this mechanism.~~

STRATEGY 3.2 Sharing of expertise and information: Promote the sharing of expertise and information.

戦略 3.2 専門知識と情報の共有：専門知識と情報の共有を促進する。

Indicator questions:

指標質問：

~~3.2.1 Have networks, including twinning arrangements, been established, nationally or internationally, for knowledge sharing and training for wetlands that share common features? (14.1.3)~~

——知識の共有および研修のため、共通の特徴を持つ湿地の国内および国際的な姉妹湿地提携を含めたネットワークを確立しましたか？

(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)

~~[If “Yes” or “Partly”, please indicate in Additional implementation information below the networks and wetlands involved]~~

「はい」あるいは「一部」の場合、下記追加の実施情報（実施に係る追加情報）に該当するネットワークや湿地を明記すること。）

A

~~3.2.2 Has information about the country’s wetlands and/or Ramsar sites and their status been made publicly available (e.g., through publications or a Web site)? (14.1.1)~~

——国内の湿地あるいはラムサール条約湿地とそれらの状況に関する情報は一般に公開されていますか？（例、出版物あるいはウェブサイト上で）

(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)

A

Additional implementation information:

追加の実施情報（実施に係る追加情報）

A): on Indicators 3.2.1-3.2.2

A): 指標質問 3.2.1-3.2.2.について

3.2.1 :

・ラムサール条約湿地が存在する市町村で構成される「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」において管理の事例を報告し、情報交換を行っている。

・アジア・太平洋地域渡り性水鳥保全戦略のもと構築され、東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップに基づくネットワークに移行した、シギ・チドリ類、ツル類、ガンカモ類の重要生息地ネットワークの拡大に努めるとともに、ネットワーク活動の一部として、情報交換や研修を実施している。

・地球規模サンゴ礁モニタリングネットワーク(GCRMN)

・釧路湿原、厚岸湖・別寒辺牛湿原、霧多布湿原とオーストラリアのハンター河口湿地、谷津干潟を持つ習志野市とブンドル湿地をもつオーストラリアのブリズベン市、藤前干潟を持つ名古屋市と 100 以上の湿地をもつオーストラリアのジロング市の湿地提携。

●—~~At the “Meeting of the Municipalities with Ramsar Sites,” case examples of management are reported and information is exchanged.~~

●—~~Japan intends to expand “Shorebird Site Network,” “Crane Site Network,” and “Anatidae Site Network” which were established under the Asia-Pacific Migratory Waterbird Conservation Strategy and are currently under the Partnership for the East Asian-Australasian Flyway, and we promote information exchange and provide training opportunities as a part of network activities.~~

●—~~Global Coral Reef Monitoring Network (GCRMN)~~

●—~~Twinning arrangements among Kushiro-shitsugen, Akkeshi-ko and Bekambeushi-shitsugen, Kiritappu-shitsugen, and Hunter Estuary Wetlands (Australia), between Narashino City where Yatsu-higata is located and Brisbane City (Australia) where Boondall wetlands are located, and between Nagoya City where Fujimae-higata is located and Geelong City (Australia) where more than 100 wetlands are located.~~

3.2.2 :

・国内の湿地情報については『日本の重要湿地500』として、自然環境局自然環境計画課及び生物多様性センターが運営する情報システム『インターネット自然研究所』において、英語版を含め一般公開している。また、湿地に関する情報を含む自然環境保全基礎調査の結果については『生物多様性情報システム(J-IBIS)』において一般公開している。ラムサール条約湿地の情報についてはパンフレット及び環境省のウェブサイト上で一般公開している。

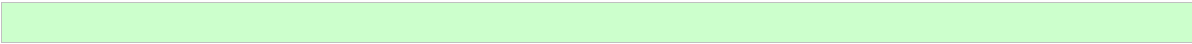
・釧路湿原を始めとする河川、湿原、干潟等の湿地で実施されている自然再生事業の情報はパンフレットに掲載され公開されている。また、ほとんどの事業は、ウェブサイト上でも情報を公開している。

●—~~“500 Important Wetlands in Japan” (Both in Japanese and English) is posted on “Internet Nature Information System” organized by Natural Environmental Strategy Division, Nature Conservation Bureau, Ministry of the Environment and Biodiversity Center of Japan. In addition, results of Japan’s National Survey on the Natural Environment which include information on wetlands are posted on “Japan Integrated Biodiversity Information System (J-IBIS).” Information about Ramsar sites in Japan is publicized in brochures and is posted on the website of the Ministry of the Environment.~~

● ~~Information about nature restoration projects implemented in such wetlands as rivers, moors, and tidal flats, including Kushiro-shitsugen is publicized in brochures. Moreover, information on most projects is posted on the websites.~~

~~B): on any other aspects of Strategy 3.2 national implementation:~~

B): 戦略 3.1 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。



GOAL 4. IMPLEMENTATION CAPACITY

目標 4. 実行能力

STRATEGY 4.1 *Local communities, indigenous people, and cultural values: Encourage active and informed participation of local communities and indigenous people, including women and youth, in the conservation and wise use of wetlands, including in relation to understanding the dynamics of cultural values.*

戦略 4.1 地域住民、先住民、及び文化的価値：地域住民や先住民、特に女性や青少年が、文化的価値のダイナミクスに関する理解も含め、十分な情報の提供を受けた上で、湿地の保全と賢明な利用に積極的に参加することを奨励する。

Indicator questions:

指標質問：

<p>4.1.1 Has resource information been compiled on local communities' and indigenous people's participation in wetland management? (6.1.5)</p> <p>——地域住民および先住民族の参加に関する資源情報が整理されていますか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)</p>	A
<p>4.1.2 Have traditional knowledge and management practices in relation to wetlands been documented and their application encouraged? (6.1.2)</p> <p>——湿地に関連する伝統的知見及び管理手法を文書化し、適用を奨励しましたか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)</p>	A
<p>4.1.3 Does the Contracting Party promote public participation in decision-making (with respect to wetlands), especially with local stakeholder involvement in the selection of new Ramsar sites and in Ramsar site management? (6.1.4)</p> <p>——締約国は、一般市民に意思決定（湿地に関するもの）への参加、特に地域の利害関係者が新しい条約湿地の決定や、条約湿地の管理に係ることを奨励していますか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)</p>	A
<p>4.1.4 Have educational and training activities been developed concerning cultural aspects of wetlands? (r.6.1.vii)</p> <p>——湿地の文化的側面に関連した教育や研修活動が進められましたか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)</p>	C
<p>4.1.5 Have cultural values of wetlands been included in the management planning of Ramsar sites and other wetlands? (r.6.1.vi)</p> <p>——湿地の文化的価値は、ラムサール条約湿地およびその他の湿地の管理計画に含まれていますか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)</p> <p>{if "Yes" or "Partly", please indicate, if known, how many Ramsar sites and their names in Additional implementation information below}</p> <p>「はい」あるいは「一部」の場合は、判明していれば、下記追加情報に条約湿地数および名称を明記する。）</p>	C

Additional implementation information:

追加的実施情報（実施に係る追加情報） :

~~A): on Indicators 4.1.1—4.1.5 For each piece of additional information text, please clearly identify to which indicator number it refers—e.g. “4.1.3: [.. additional information ...]”~~

A): 指標質問 4.1.1-4.1.5 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例（4.1.5：(追加情報)）

4.1.1：釧路湿原を始めとする河川、湿地、干潟等で実施されている自然再生事業では、地域住民等が自然再生協議会へ参加するための基礎情報として、自然再生事業の概要や課題等について整理・公表している。

~~The outlines and challenges of Nature restoration projects implemented in such wetlands as rivers, moors, and tidal flats, including Kushiro-shitsugen, have been compiled and published as basic information for local people to participate in the Nature Restoration Committee.~~

4.1.2：

・天然記念物杉沢の沢スギは、材や落葉・落枝を利用することにより維持されてきた湿地林であるが、かつての利用が行われなくなったこと等により、林相の変化等が起こっている。かつての森林景観維持の観点から、地域住民等の参加による調査を実施し、かつての管理方法を復活させるような管理計画をまとめる事業について補助を行った。

・重要文化的景観「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」では、地域における伝統的な生活の場として河川等の水場が重要であることを明らかにし、祭等の生活や放牧等の生業を営むことによって湿地の良好な管理を図るよう、保存計画策定事業について補助を行った。

・釧路湿原を始めとする河川、湿地、干潟等で実施されている自然再生事業の自然再生計画に、地域住民等と連携した管理手法を定めている。

~~● One of Japan’s Natural Monuments, “Sugisawa no Sawa Sugi,” is a swamp forest that had been maintained by utilization of timbers, fallen leaves and branches by local people. This forest is facing changes in physiognomy partly due to the lack of utilization as people used to do in recent years. Financial support was provided to the project that aimed at maintaining the former forest landscape, in which an investigation involving local people was conducted and a management plan was developed to restore the management methods in the past.~~

~~● At the Important Cultural Landscape “Cultural Landscape of the Saru River basin influenced by Ainu traditions and modern pioneers,” the importance of water places including rivers for traditional life in the area was made clear, and the financial support was provided to a project to develop a conservation plan, which encourages appropriate wetland management through conducting festivals and pasturage.~~

~~● The management methods in coordination with local people are stipulated in the Nature Restoration Plans under the nature restoration projects implemented in such wetlands as rivers, moors and tidal flats, including Kushiro-shitsugen.~~

4.1.2 & 4.1.5：

・片野鴨池（ラムサール条約湿地）周辺では、300年以上に渡り夏は周辺の水田の灌漑用水池として利用し、冬は水田に水を溜めてガンカモ類の生息環境を創出し、伝統的な投げ網猟の猟場として利用・維持してきた。ラムサール条約登録（1993年）以降、伝統的な水管理手法の有効性が認識されるとともに、関係者の連絡協議会が設置され、管理や保全活動が進められている。

・琵琶湖（ラムサール条約湿地）では、昔から伝統的な手法によるアユやニゴロブナ漁が行われ、湿地の賢明な利用が進められてきた。また湖畔のヨシは過去に伝統的な建築材等として利用されてきており、景観保全上重要であることから、ヨシ群落保全条例等により保全措置が講じられている。

・野付半島・野付湾では、浅い湾内に生育しているアマモを傷つけないよう、スクリューを使わない打瀬船（白い三角形の帆をあげた船）による独特のホッカイシマエビ漁が100年以上続けられている。

~~● Katano kamoike has functioned as an irrigation pond for surrounding paddy fields in~~

~~summer for more than 300 years. After the rice harvest, paddy fields are filled with water, and the open water surface has provided habitat for ducks and geese (Anatidae). Katano-kamoike has been maintained and used as a hunting field for the traditional cast net hunting. After the designation as a Ramsar site in 1993, the effectiveness of traditional water management practices has been recognized and a liaison committee was set up to coordinate and promote management and conservation activities among organizations concerned.~~

- ~~● At Biwa-ko, wise use of wetlands has been implemented for a long time through traditional fishing methods for endemic species such as Japanese trout (*Plecoglossus altivelis altivelis*) and “Nigorobuna” (*Carassius auratus grandoculis*). Lakeside reeds have played an important role in conserving traditional landscapes, and the reeds were utilized as a traditional building material in the past years. Currently, the conservation measures for lakeside reeds are enforced by the Reed-Community Conservation Ordinance etc.~~
- ~~● At Notsuke-hanto and Notsuke-wan, “Utasebune” (a boat with white triangular sails) has been used in shrimp (*Pandalus latirostris*) fishing for more than 100 years so as not to damage the eelgrass growing in the shallow gulf with a screw.~~

4.1.3 :

・湿地を含む生態系を保全するため、鳥獣保護区や自然公園等の保護地域を設定し、当該地域の管理計画を策定する場合には、国の関係行政機関、地方自治体、主な利害関係者等との調整を行うほか、一般市民等の意見を広く聴取している。

・釧路湿原を始めとする河川、湿地、干潟等で実施されている自然再生事業では、行政・専門家・NPO・地域住民等の多様な主体の参画のもと自然再生協議会を設置し、全体構想及び実施計画を策定している。

・仏沼（ラムサール条約湿地）では、関係する行政機関・団体や住民が役割を分担し、協働しながら仏沼の保全と活用を推進することを目的に「三沢市仏沼保全活用協議会」を設立した。ラムサール条約湿地である仏沼を次世代に引き継ぎ、今後も持続可能な活用を続けていくため「仏沼保全活用に関する基本指針」を定め、仏沼の生態系保全と活用を推進することとしている。

・条約湿地を含む保護地域の適切な管理を推進するため、ラムサール条約湿地「尾瀬」を含む尾瀬国立公園などでは、地域の多様な関係者との協働・連携に向けた取組を行っている。

・河川整備計画等を作成する際には、関係住民等を交えた流域委員会を設置し検討を行っている。

・ラムサール条約湿地の賢明な利用を推進するため、地域の利害関係者を対象としたワークショップ等を開催しているほか、普及啓発のためのパンフレットを配布し、利害関係者の湿地保全管理への参画を奨励している。

- ~~● To conserve ecosystems including wetlands, protected areas such as Wildlife Protection Areas and Natural Parks are designated. In case of developing management plans for such protected areas, the government agencies call for public comments from citizens widely, as well as coordinate with relevant government agencies, local governments, stakeholders and others.~~
- ~~● In the nature restoration projects implemented in such wetlands as rivers, moors and tidal flats including Kushiro-shitsugen, the grand designs and action plans are developed by Nature Restoration Committees consisted of various stakeholders such as governments, experts, NPOs and local people.~~
- ~~● At Hotokenuma, “Misawa City Hotokenuma Conservation and Utilization Committee” was established in order to promote conservation and wise use of Hotokenuma through role-sharing and cooperation among the relevant governments, local communities and local people. To hand over Hotokenuma as a Ramsar site to the next generation and to continue using the site sustainably, the Committee developed the “Basic Guidelines for Conservation and Utilization of Hotokenuma” which would lead to conservation of ecosystem and practical use of Hotokenuma.~~

- ~~At places like Oze National Park, which contains the Ramsar site “Oze,” measures for cooperation and coordination with various local stakeholders are taken to promote appropriate management of the protected areas that contain Ramsar sites.~~
- ~~In formulating River Improvement Plans, a river basin committee is set up with involvement of relevant citizens to discuss the plans.~~
- ~~In order to promote the wise use of Ramsar sites, participation of stakeholders in conservation and management of wetlands is encouraged by holding workshops for local stakeholders and by distributing brochures for communication, education, and public awareness.~~

4.1.4 :

- ・ 釧路湿原を始めとする河川、湿地、干潟等で実施されているほとんどの自然再生事業において、市民団体等と連携して環境教育等を実施している。
- ・ 名蔵アンパル登録一周年記念観察会において、アンパルに関する民謡の紹介・合唱、現地観察が実施された。
- ・ 「近江八幡の水郷」の文化的景観保存計画が、学校教育や生涯学習の場で教材として活用されている。保存計画の中では、湿地の文化的価値について記述されている。
- ・ 国土交通大学校での河川環境研修は、湿地の文化的価値に関する内容を盛り込んでいる。

- ~~In most nature restoration projects implemented in such wetlands as rivers, moors and tidal flats including Kushiro-shitsugen, environmental education is provided in cooperation with citizens’ groups and others.~~
- ~~In the field tour at Nagura Amparu on the first anniversary of designation as a Ramsar site, folk songs on Amparu were introduced and sung in chorus, and a field observation was conducted.~~
- ~~The conservation plan of the cultural landscape “Suigo Area of Omi-Hachiman” is used as teaching materials for school education and life-long education. In the conservation plan, the cultural value of wetlands is described.~~
- ~~River Environment Course provided by College of Land, Infrastructure and Transport includes the subject related to cultural value of wetlands.~~

4.1.5 :

- ・ 天然記念物として指定されている湿地の保存管理計画及び重要文化的景観として選定されている湿地の保存計画には、文化財としての価値について記述されている。
- ・ 釧路川水系河川整備計画（原案）では、釧路湿原を含む河川の管理及び湿原の文化的価値について位置付けている。
- ・ 石西礁湖自然再生マスタープラン、石西礁湖自然再生全体構想において湿地の文化的価値が言及されている。

- ~~The value of wetlands as cultural assets is described in the conservation management plans of wetlands designated as Natural Monuments and in the conservation plans of wetlands selected as Important Cultural Landscapes.~~
- ~~Management of the river including Kushiro-shitsugen and cultural value of the marsh are described in the draft Kushiro River Improvement Plan.~~
- ~~The cultural value of wetlands is mentioned in the master plan and the grand design for Sekisei Lagoon Nature Restoration.~~

B): on any other aspects of Strategy 4.1 national implementation:

B): 戦略 4.1 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

STRATEGY 4.2 ~~Promote the involvement of the private sector in the conservation and wise use of wetlands.~~

戦略 4.2 民間部門が湿地の保全と賢明な利用に参画するよう働きかける。

Indicator questions:

指標質問 :

4.2.1 ~~Is the private sector encouraged to apply the wise use principle in activities and investments concerning wetlands? (7.1.1)~~

— 民間部門に対し湿地に関する活動と投資において賢明な利用原則を適用することを奨励しましたか？

(A-~~Yes~~ はい、B-~~No~~ いいえ、C-~~Partly~~ 一部、D-~~Planned~~ 計画中)

C

4.2.2 ~~Have private-sector “Friends of Wetlands” fora or similar mechanisms been established? (7.1.4)~~

— 民間部門により「湿地懇談会」またはそれに相当するメカニズムが設立されましたか？

(A-~~Yes~~ はい、B-~~No~~ いいえ、C-~~Partly~~ 一部、D-~~Planned~~ 計画中)

~~{If “Yes” or “Partly”, please indicate in Additional implementation information below the private sector companies involved}~~

「はい」あるいは「一部」の場合、下記追加情報に係わった民間会社を明記すること。

C

Additional implementation information:

追加的実施情報（実施に係る追加情報） :

~~A): on Indicators 4.2.1—4.2.2 For each piece of additional information text, please clearly identify to which indicator number it refers—e.g. “4.2.2: [.. additional information ...]”~~

A): 指標質問 4.2.1-4.2.2 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例（4.2.2 : (追加情報)）

4.2.1 : 民間部門を含む幅広い主体に対し、ラムサール条約の概念と湿地の賢明な利用についての普及啓発を促すため、各種シンポジウムの開催及び主な条約湿地における水鳥湿地センターを中心とした情報発信を進めた。新しいラムサール条約湿地への登録を前提とした保護区の設定等に際して、利害関係者としての民間部門の理解を得ている。

~~To raise awareness of a wide range of bodies including private sectors about the objectives of the Ramsar Convention and wise use of wetlands, a number of symposiums were held and information dissemination was encouraged at the waterfowl and wetland centers located at major Ramsar sites. When protected areas are designated on the premise of designating them as new Ramsar sites, approvals from private sectors as local stakeholders are obtained.~~

4.2.2 : 国際サンゴ礁年推進委員会が設立されており、例えば、富士ゼロックス株式会社、三菱商事株式会社、リゾートトラスト株式会社等が関わっている。

~~ICRI International Year of the Reef 2008 Ad Hoc Committee is established, with the involvement of companies such as Fuji Xerox Co., Ltd., Mitsubishi Corporation, and Resorttrust, Inc.~~

B): on any other aspects of Strategy 4.2 national implementation:

B): 戦略 4.2 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

STRATEGY 4.3 *Promote measures which encourage the application of the wise use principle.*

戦略 4.3 賢明な利用原則を適用するための奨励措置を促進する。

Indicator questions:

指標質問 :

~~4.3.1 Have actions been taken to promote incentive measures which encourage the conservation and wise use of wetlands? (8.1.1)~~

~~——湿地の保全と賢明な利用を促進する奨励措置がとられましたか？~~

~~(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)~~

C

~~4.3.2 Have actions been taken to remove perverse incentive measures which discourage conservation and wise use of wetlands? (8.1.1)~~

~~——湿地の保全と賢明な利用の妨げとなる措置を除去する方策が講じられましたか？~~

~~(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)~~

B

Additional implementation information:

追加的実施情報（実施に係る追加情報） :

~~A): on Indicators 4.3.1—4.3.2 For each piece of additional information text, please clearly identify to which indicator number it refers — e.g. “4.3.2: [.. additional information ...]”~~

A): 指標質問 4.3.1-4.3.2 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例（4.3.2 : (追加情報)）

4.3.1 :

・藤前干潟（ラムサール条約湿地）において、その隣接地域で鳥類被害対策に関する連絡協議会を発足し、ヒドリガモによる農作物食害防除対策を実施し、水鳥と農業の共存に取り組んでいる。

・渡り鳥の越冬環境に配慮した水田農業を行い、その水田で収穫された米に「渡り鳥と共生する田でとれた米」として販売する事例や、このような取組みに対し支援措置が講じられている事例がある。

~~● —— At Fujimae-higata (Ramsar site), a Liaison Committee was set up in the surrounding area to address the feeding damage on agricultural products caused by Wigeon (*Anas penelope*), and the mitigation measures are taken in order to achieve the coexistence of waterbirds and agriculture.~~

~~● In some cases, paddy agriculture that is concerned about the wintering environment of migratory birds is conducted and the rice harvested from these paddy fields are branded as “rice from migratory bird-friendly paddies.” Some of these efforts are financially supported.~~

~~B): on any other aspects of Strategy 4.3 national implementation:~~

B): 戦略 4.3 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

STRATEGY 4.4 *Support, and assist in implementing at all levels, the Convention’s Communication, Education, and Public Awareness Programme (Resolution VIII.31) for promoting the conservation and*

wise use of wetlands through public participation and communication, education, and public awareness (CEPA).

戦略 4.4 一般市民の参加と広報、教育、普及啓発（CEPA）を通じ、湿地の保全と賢明な利用を促進するための広報・教育・普及啓発プログラム（決議VIII.31）を支持し、このプログラムのあらゆるレベルでの実施を支援する。

Indicator questions:

指標質問

<p>4.4.1 Has a mechanism for planning and implementing wetland CEPA (National Ramsar/Wetland Committee or other mechanism) been established with both CEPA Government and NGO National Focal Point (NFP) involvement? (r.9.iii.iii)</p> <p>——政府とNGOの双方のCEPAフォーカルポイントが関与する、湿地に関するCEPAの計画と実行のためのメカニズム(国のラムサール条約湿地委員会あるいはその他のメカニズム)が設立されましたか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)</p> <p>[[If “Yes” or “Partly”, please describe in Additional implementation information below the mechanism]</p> <p>「はい」あるいは「一部」の場合、下記追加的实施情報（実施に係る追加情報）にメカニズムを詳しく述べること。</p>	B
<p>4.4.2 Has a National Action Plan (or plans at the subnational, catchment or local level) for wetland CEPA been developed? (r.9.iii.iii)</p> <p>——湿地のCEPAのための国内行動計画（あるいは地方、集水域又は地元レベルの計画）が策定されましたか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)</p> <p>[Even if a National Action Plan has not yet been developed, if broad CEPA objectives for national CEPA actions have been established please indicate this in the Additional implementation information section for Strategy 4.4]</p> <p>もし、国内の行動計画が策定されていないとしても、国のCEPA行動のための広範なCEPAの目的が設立された場合には、戦略4.4の追加的实施情報欄に明示すること。</p>	C
<p>4.4.3 Have actions been taken to communicate and share information cross-sectorally on wetland issues amongst relevant ministries, departments and agencies? (r.9.iii.v)</p> <p>——関係省庁間で、湿地問題についての部門をまたがる知見の伝達と情報共有に関して、活動が行われたか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)</p>	A

~~4.4.4 Have national campaigns, programmes, and projects been carried out to raise community awareness of the ecosystem benefits/services provided by wetlands? (r9.vi.i)~~

——湿地によりもたらされる生態系の恩恵/サービスに関し、地域住民の間での普及啓発を進めるために国レベルのキャンペーン、プログラムまたは事業が実行されたか？

(A-~~Yes~~ はい、B-~~No~~ いいえ、C-~~Partly~~ 一部、D-~~Planned~~ 計画中)

~~[[:~~

~~a) support has been provided for the delivery of these and other CEPA activities by other organisations; and/or~~

~~b) these have included awareness-raising for social, economic and/or cultural values;~~

~~please indicate this in the Additional implementation information section for Strategy 4.4 below]~~

もし、

a) CEPA の上記あるいは別の活動のために、他の機関からサポートが行われた、または、

b) 社会、経済、及び/又は文化的価値の普及啓発が含まれた

場合には、戦略 4.4 の追加的实施情報欄に明記すること。

A

~~4.4.5 Have World Wetlands Day activities in the country, either government and NGO-led or both, been carried out? (r9.vi.ii)~~

——国内の世界湿地の日に関する活動が、政府主導、NGO ベース、あるいは双方により実施されましたか？

(A-~~Yes~~ はい、B-~~No~~ いいえ、C-~~Planned~~ 計画中)

A

~~4.4.6 Have education centres been established at Ramsar sites and other wetlands? (r9.viii.i)~~

——ラムサール条約湿地や他の湿地に教育センターが設立されましたか？

(A-~~Yes~~ はい、B-~~No~~ いいえ、C-~~Some sites~~ 数カ所、D-~~Planned~~ 計画中)

~~[[if any such centres are part of the Wetland Link International (WLI) Programme of the Wildfowl & Wetland Trust, UK, please indicate this in the Additional implementation information section for Strategy 4.4 below]~~

もし、そのセンターがイギリスの水鳥湿地トラストの湿地リンクインターナショナル (WLI) プログラムの 1 員である場合、下記戦略 4.4 の追加的实施情報欄に明記すること。

A

Additional implementation information:

追加的实施情報（実施に係る追加情報） :

~~A): on Indicators 4.4.1—4.4.6 For each piece of additional information text, please clearly identify to which indicator number it refers—e.g. “4.4.3: [.. additional information ...]”~~

A): 指標質問 4.4.1-4.4.6 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例（4.4.3：(追加情報)）

4.4.2 :

- ・2007年に策定された第三次生物多様性国家戦略において、湿地も含めた生物多様性の保全に関する「普及広報と国民的参画の推進」の具体的な方策を明記した。
- ・地元レベルのものとしては、釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会で作成された「釧路湿原自然再生普及行動計画」、上サロベツ自然再生協議会で作成された「上サロベツ自然再生普及行動計画」、「石西礁湖自然再生マスタープラン」、「石西礁湖自然再生全体構想」が相当する。

~~●—The concrete measures of “Promotion of Communication and Public Involvement” for conservation of biodiversity including wetlands are described in the 3rd National Biodiversity Strategy of Japan developed in 2007.~~

~~●—At the local level, there are “Action Plan for Public Awareness on Kushiro-shitsugen Nature Restoration” developed by Subcommittee for Public Awareness on Kushiro-shitsugen Nature Restoration, “Action Plan for Public Awareness on Kami Sarobetsu Nature Restoration” developed by Kami Sarobetsu Nature Restoration Committee, “Master Plan of Sekiseishoko Nature Restoration” and “Grand design for Sekiseishoko Nature Restoration.”~~

4.4.4 :

- ・湿地の恵みについて普及啓発資料を作成し、各自治体に配布した。
- ・釧路湿原において、釧路湿原自然再生シンポジウム、現地見学会等を実施した。
- ・年に一度東京にて開催されている「エコライフ・フェア」において、湿地のもたらす恵みについて展示している。

~~●—CEPA materials on “blessings of wetlands” were developed and distributed to local governments.~~

~~●—Kushiro-shitsugen Nature Restoration Symposium, field trip and other activities were held at Kushiro-shitsugen.~~

~~●—A booth with a theme “Blessings of Wetlands” has been set up since 2006 at “Eco-life Fair” held annually in Tokyo.~~

4.4.5 : 条約事務局が作成した世界湿地の日に関するポスター等の資料を関係省庁、自治体、NGO等に送付した。琵琶湖（ラムサール条約湿地）において「世界湿地の日」にちなんだ観察会が実施されているほか、シンポジウム開催等各地でNGOの取組が行われている。

~~World Wetlands Day posters developed by Ramsar Secretariat were distributed to the relevant ministries, local governments and NGOs. A field trip in association with World Wetlands Day has been conducted in Biwa-ko, and NGOs have organized a number of other activities around Japan such as hosting symposiums.~~

4.4.6 : 条約湿地では、クッチャロ湖、宮島沼、厚岸湖・別寒辺牛湿原、琵琶湖、佐潟、藤前干潟、漫湖等に教育施設が設置されている。このうち、宮島沼水鳥・湿地センターは2007年3月に開所したもの。

~~Among the Ramsar sites in Japan, educational centers have been established in Kutcharo-ko, Miyajima-numa, Akkeshi-ko and Bekambeushi-shitsugen, Biwa-ko, Sakata, Fujimae-higata, Manko, etc. Among them, Miyajima-numa Waterfowl and Wetlands~~

~~Center was opened in March 2007.~~

~~B): on any other aspects of Strategy 4.4 national implementation:~~

B): 戦略 4.4 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

日本全国の条約湿地で活動している子どもたちを集め、各々の地域の湿地生態系やその保全と賢明な利用について相互に学び合い、交流する機会を提供し、ラムサール条約の履行への参加を促進する CEPA 活動である「KODOMO ラムサール」が、ラムサールセンター主催、環境省後援で、2006～2008 年にかけて 7 か所（濤沸湖、宮島沼、佐潟、琵琶湖、中海、宍道湖、漫湖）で開催され、全国 29 条約湿地から 400 人の子どもが参加した。

~~“KODOMO Ramsar” is a CEPA activity which promotes participation of children in implementing the Ramsar Convention by gathering children involved in Ramsar site activities in Japan and providing chances to learn from and communicate with each other about ecosystems, conservation and wise use of their respective wetlands. From 2006 to 2008, “KODOMO Ramsar,” hosted by Ramsar Center Japan and supported by the Ministry of the Environment, was held at seven sites (Tofutsu-ko, Miyajima-numa, Sakata, Biwa-ko, Nakaumi, Shinji-ko, Manko) and 400 children from 29 Ramsar sites participated in it.~~

~~**STRATEGY 4.5** *Promote international assistance to support the conservation and wise use of wetlands, while ensuring that environmental safeguards and assessments are an integral component of all development projects that affect wetlands, including foreign and domestic investments.*~~

戦略 4.5 国内外の投資によるものを含み、湿地に影響を与えるすべての開発計画において、環境保護措置と影響評価が不可分の要素として確実に盛り込まれるようにする一方で、湿地の保全と賢明な利用を支援するための国際協力を促進する。

Indicator questions:

指標質問 :

4.5.1 ~~[[For Contracting Parties with development assistance agencies only] Has funding support been provided from the development assistance agency for wetland conservation and management in other countries? (15.1.4)~~

—— (開発援助機関を持つ締約国に対して)

他国の湿地保全と管理のために、開発援助機関により資金援助を行っていますか？

(A-~~Yes~~ はい、B-~~No~~ いいえ、C-~~Some countries~~ 数カ国、D-~~Not applicable~~ 該当せず)

~~[[If “Yes” or “Some countries”, please indicate in Additional implementation the countries supported since COP9]~~

「はい」あるいは「数カ国」の場合、第9回締約国会議以降援助を行った国を、追加実施に明記すること。

C

4.5.2 ~~[[For Contracting Parties in receipt of development assistance only] Has funding support been mobilized from development assistance agencies specifically for in-country wetland conservation and management? (15.1.8)~~

—— (開発援助を受けた締約国に対して)

特に国内の湿地の保全と管理のために、開発援助機関からの資金援助が分配されましたか？

(A-~~Yes~~ はい、B-~~No~~ いいえ、C-~~Some agencies~~ 数カ所 (援助機関)、D-~~Not applicable~~ 該当せず)

~~[[If “Yes” or “Some countries”, please indicate in Additional implementation the agencies from which support has been received since COP9]~~

「はい」あるいは「数カ国」の場合、追加実行に第9回締約国会議以降受けたサポートを明記すること。

D

Additional implementation information:

追加的实施情報 (実施に係る追加情報) ∴

~~A): on Indicators 4.5.1 – 4.5.2 For each piece of additional information text, please clearly identify to which indicator number it refers – e.g. “4.5.2: [∴ additional information ...]”~~

A): 指標質問 4.5.1-4.5.2 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例 (4.5.2 : 追加情報)

4.5.1：わが国は、湿地の保全を含む環境関連分野での協力を重視しており、ラムサール条約関連案件として、2005年度から2008年度において技術協力をインドネシア、ミャンマー、ブラジル、イラン、マレーシアに対して、草の根・人間の安全保障無償資金協力をフィリピン、ベトナムに対して実施した。また、わが国はラムサール条約小規模無償基金への追加的な自主貢献を実施している。わが国としては、途上国におけるキャパシティー・ビルディング等を目的とした小規模無償基金の重要性を認識しており、今後とも本件拠出を実施できるように努めていく。同基金より援助を行った国名：ネパール(2006年度)

~~Japan gives high priority to the cooperation projects in environment-related area including wetland conservation. During the fiscal years 2005-2008, technical cooperation was provided in Indonesia, Myanmar, Brazil, Iran and Malaysia, and grant assistance for grassroots human security projects under the government's official development assistance were conducted in the Philippines and Vietnam. Japan has also provided an additional voluntary contribution to the Ramsar Small Grant Fund (SGF). Japan recognizes the importance of the SGF for the capacity building, etc. in developing countries, and plans to make efforts to continuously provide voluntary contributions to the SGF.~~

~~Recipient country of this fund: Nepal (FY2006)~~

B): on any other aspects of Strategy 4.5 national implementation:

B): 戦略 4.5 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

~~STRATEGY 4.6 Provide the financial resources required for the Convention's governance, mechanisms and programmes to achieve the expectations of the Conference of the Contracting Parties.~~

戦略 4.6 締約国会議からの要請に応えるため、条約の管理、各種の取組、またプログラムに必要な資金を提供する。

Indicator questions:

指標質問：

4.6.1 {16.1.1}

a) ~~For the last triennium have Ramsar contributions been paid in full and in a timely manner (by 31 March of calendar year)?~~

—過去3年間においてラムサール拠出金が、全額かつ適時に支払われましたか？（暦で3月31日までで）

(A-Yes はい、B-No いいえ)

A

b) ~~If "No" in 4.6.1 a), please clarify what plan is in place to ensure future prompt payment:~~

—4.6.1の a)で「いいえ」の場合、今後の速やかな支払いを確約するための計画を明記すること。

4.6.2 {16.1.2}

a) ~~Has any additional financial support been provided through voluntary contributions to the Ramsar Small Grants Fund or other non-core funded Convention activity?~~

—ラムサール小規模基金あるいはその他の非基本資金条約の活動に対して任意の拠出金を通じて、追加の資金援助が行われましたか？

(A-Yes はい、B-No いいえ)

A

b) ~~If yes, please state the amounts:~~

—「はい」の場合、金額を記入すること。

2006 度：ネパール案件（Sustainable Wetland Management for Wildlife and People at Jagdishpur Reservoir, Central Nepal）に 3.2 万米ドル供与

~~FY2006: provided 32,000 USD to Sustainable Wetland Management for Wildlife and People at Jagdishpur Reservoir, Central Nepal~~

2005 年度：締約国会議に参加するアジアの途上国渡航費用途に 2.0 万米ドル供与

~~FY2005: provided 20,000 USD for Asian developing countries as travel expenses to attend Ramsar COP9~~

Additional implementation information:

追加的実施情報（実施に係る追加情報） :

~~A): on Indicators 4.6.1—4.6.2 For each piece of additional information text, please clearly identify to which indicator number it refers—e.g. “4.6.2: [.. additional information ...]”~~

A): 指標質問 4.6.1-4.6.2 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例（4.6.2：(追加情報)）

~~B): on any other aspects of Strategy 4.6 national implementation:~~

B): 戦略 4.6 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

~~STRATEGY 4.7 Ensure that the Conference of the Contracting Parties, Standing Committee, Scientific and Technical Review Panel, and Ramsar Secretariat are operating at a high level of efficiency and effectiveness to support implementation of this Framework.~~

-戦略 4.7 締約国、常設委員会、STRP、および条約事務局が、この戦略計画実施を支援して、極めて効率的、効果的に機能するよう図る。

Indicator questions:

指標質問 :

4.7.1 ~~Has the Contracting Party used its previous Ramsar National Reports in monitoring its implementation of the Convention?~~

—— 締約国は、条約の実施のモニタリングを行う際に前回のラムサール国別報告書を利用したか？

(A-~~Yes~~ はい、B-~~No~~ いいえ、C-~~Partly~~ 一部、D-~~Planned~~ 計画中)

~~{If “Yes” or “Partly”, please indicate in Additional implementation information how the Reports have been used for monitoring}~~

「はい」あるいは「一部」の場合、追加の実施情報（実施に係る追加情報）に、報告書をモニタリングにどのように利用したのか記載する。

A

Additional implementation information:

追加の実施情報（実施に係る追加情報） ：

A): on Indicator 4.7.1

A): 指標質問 4.7.1.について

4.7.1：ラムサール条約関係省庁連絡会議において、条約の履行状況を報告した。

~~The implementation status of the Ramsar Convention was reported at the Inter-Ministerial Coordinating Committee.~~

B): on any other aspects of Strategy 4.7 national implementation:

B): 戦略 4.7 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

~~STRATEGY 4.8 Develop the capacity within, and promote cooperation among, institutions in Contracting Parties to achieve conservation and wise use of wetlands.~~

戦略 4.8 湿地の保全と賢明な利用を実現するために、締約国の機関内部の能力の向上を図り、締約国内の機関相互の協力を促進する。

Indicator questions:

指標質問 ：

4.8.1 ~~Has a review of national institutions responsible for the conservation and wise use of wetlands been completed? (4.8.1.1)~~

—— 湿地の保護と賢明な利用に責任を有する国内機関の見直しを行ったか？

(A-~~Yes~~ はい、B-~~No~~ いいえ、C-~~Partly~~ 一部、D-~~In progress~~ 進行中、E-~~Planned~~ 計画中)

~~{If “Yes” or “Partly”, please indicate in Additional implementation information if this has led to proposals for, or implementation of, any changes in institutional responsibilities}~~

「はい」あるいは「一部」の場合、もし責任を有する国内機関の変更の提案あるいは変更の実行に結びつくなら、追加実行情報に明記する。

B

4.8.2 Is a National Ramsar/Wetlands cross-sectoral Committee (or equivalent body) in place and operational? (4.8.1.2)

——国内のラムサール条約／湿地の部門横断的な協議会（あるいは同等の母体）が設置及び運営されているか？

(A-**Yes** はい、B-**No** いいえ、C-**Partly** 一部、D-**Planned** 計画中)

{If “Yes”, please summarise in Additional implementation information its membership and frequency of meetings}

「はい」の場合、下記追加的实施情報（実施に係る追加情報）に会合および会合の開催頻度を明記する。

A

Additional implementation information:

追加的实施情報（実施に係る追加情報）

A): on Indicators 4.8.1—4.8.2 For each piece of additional information text, please clearly identify to which indicator number it refers—e.g. “4.8.2: [.. additional information ...]”

A): 指標質問 4.8.1-4.8.2 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例（4.8.2: (追加情報)）

4.8.2: 関係省庁、自治体（県及び市町村）及びNGOの代表により構成されるラムサール推進国内連絡会議を必要に応じて開催し、情報交換等を実施している。

Meetings of National Ramsar Committee composed of relevant ministries, local governments (prefectures and municipalities), and NGOs are convened as needed for information exchange.

B): on any other aspects of Strategy 4.8 national implementation:

B): 戦略 4.8 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

STRATEGY 4.9 Maximize the benefits of working with the Convention's International Organization Partners (IOPs*) and others

戦略 4.9 条約の IOP やその他の機関との協働による恩恵を最大限活用する。

Indicator question:

指標質問

4.9.1 Has your country received assistance from one or more of the Convention's IOPs* in its implementation of the Convention?

——条約の実施に際して、国内の1つあるいは複数の条約の国際機関パートナーの援助を受けましたか？

(A-**Yes** はい、B-**No** いいえ、C-**Planned** 計画中)

{If “Yes”, please provide in Additional implementation information the name(s) of the IOP(s) and the type of assistance provided}

「はい」の場合、追加的实施情報（実施に係る追加情報）に国際機関パートナーの名称および援助の種類を明記する。

A

4.9.2 Has your country provided assistance to one or more of the Convention's IOPs*?

——1つ以上の条約の国際機関パートナーに援助を用意していますか？

(A-**Yes** はい、B-**No** いいえ、C-**Planned** 計画中)

{If “Yes”, please provide in Additional implementation information the name(s) of the IOP(s) and the type of assistance provided}

「はい」の場合、追加的实施情報（実施に係る追加情報）に国際機関パートナーの名称および援助の種類を明記する。

A

~~* The IOPs are: BirdLife International, International Water Management Institute (IWMI), Wetlands International, The World Conservation Union (IUCN), and WWF International.~~

~~* 国際機関パートナーとは： バードライフ・インターナショナル、国際水管理研究所(IWMI)、国際湿地保全連合(WI)、国際自然保護連合(IUCN)、および世界自然保護基金~~

Additional implementation information:

追加的实施情報（実施に係る追加情報） :

~~A): on Indicators 4.9.1-4.9.2~~

A): 指標質問 4.9.1-4.9.2 について

4.9.1 :

- ・国際湿地保全連合によるアジア水鳥センサスの実施及びその情報提供により、基準6の水鳥個体群の個体数の1%及び水鳥個体数の変動の把握が可能となっている。
- ・環境省が2008年6月ベトナム・ハノイで共催予定の第四回アジア湿地シンポジウムにIUCNベトナムの支援を受けている。

~~● The Asian Waterbird Census conducted by Wetlands International enables us to calculate 1% of the individuals in a population used in Criterion 6 and to identify the fluctuation of waterbird populations.~~

~~● IUCN Vietnam Country Office supports the 4th Asian Wetland Symposium, which is co-organized by the Ministry of the Environment of Japan and is to be held in Hanoi, Vietnam in June 2008.~~

4.9.2 :

- ・我が国は1995年に国際湿地保全連合に加入しており、毎年メンバーシップ分担金を支払っている。
- ・我が国は1995年6月に国家会員としてIUCNに加盟しており、毎年会員費（membership fee）を拠出している。

~~● Japan became a member of WI in 1995 and has paid the membership dues annually.~~

~~● Japan became a national member of IUCN in June 1995 and have paid the membership dues annually.~~

~~B): on any other aspects of Strategy 4.9 national implementation:~~

B): 戦略4.9に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。

STRATEGY 4.10 *Identify the training needs of institutions and individuals concerned with the conservation and wise use of wetlands, particularly in developing countries and countries in transition, and implement appropriate responses.*

-戦略4.10 特に開発途上国や経済移行国などにおいて、湿地の保全と賢明な利用に関わる機関や個人にとって必要な研修の内容を特定し、適切な対応を行う。

Indicator questions:

指標質問

<p>4.10.1 Has your country provided support to, or participated in, the development of regional (i.e., covering more than one country) wetland training and research centres?</p> <p>——地域（1カ国より多くの国をカバーするもの）の湿地研修・リサーチセンターの設置に支援、又は参加しましたか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)</p> <p>{If “Yes”, please indicate in Additional implementation information the name(s) of the centre(s)}</p> <p>「はい」の場合、追加的实施情報（実施に係る追加情報）にセンターの名称を記入すること。</p>	B
<p>4.10.2 Has an assessment of national and local training needs for the implementation of the Convention, including in the use of the Wise Use Handbooks, been made? (20.1.2)</p> <p>——賢明な利用ハンドブックの使用を含めた、条約の実施に関する国及び地方における研修の必要性についてアセスメントを行いましたか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-In progress 進行中、E-Planned 計画中)</p>	B
<p>4.10.3 Have opportunities for wetland site manager training in the country been provided? (20.1.6)</p> <p>——国内での湿地管理者研修の機会を提供していますか？</p> <p>(A-Yes はい、B-No いいえ、C-Partly 一部、D-Planned 計画中)</p>	A

Additional implementation information:

追加的实施情報（実施に係る追加情報） :

~~A): on Indicators 4.10.1—4.10.3 For each piece of additional information text, please clearly identify to which indicator number it refers—e.g. “4.10.3: [.. additional information ...]”~~

A): 指標質問 4.10.1-4.10.3 について

各追加情報が、どの指標質問に対応するのか明記する。例（4.10.3 : (追加情報)）

4.10.3 :

- ・国際協力機構の研修プログラムを通じ、途上国からの研修者を対象とした湿地保全及び賢明な利用、珊瑚礁の保全、マングローブの保全に関する各種研修コースを日本国内（釧路国際ウェットランドセンター（KIWC）等）及び途上国にて実施している。
- ・生物多様性条約やラムサール条約等の国際環境協定について、途上国の環境問題担当者の理解を深め、各国の環境行政の進展に資することを目的として、日本の財政支援により国連訓練調査研究所（UNITAR）が北海道釧路で実施している。
- ・この他、国内ラムサール湿地管理者を対象にしたワークショップ、東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップに基づく国内ネットワークサイトに対する研修を開催している。

● ~~Through the training programs of JICA (Japan International Cooperation Agency), a variety of training courses are provided in Japan (at Kushiro International Wetlands Centre, etc.) and in developing countries, for trainees from developing countries, on conservation and wise use of wetlands, conservation of coral reef, and conservation of mangroves.~~

● ~~With the financial support from Japan, UNITAR (UN Institute for Training and Research) has provided training opportunities in Kushiro, Hokkaido, which aim to~~

~~promote understanding of international environmental agreements such as the CBD and the Ramsar Convention among the officials in charge of environmental issues from developing countries, thus contributing to the progress in environmental policies in those countries.~~

- ~~● In addition, workshops are held targeting the managers of Ramsar sites in Japan, and trainings for managers of domestic network sites under the Partnership for the East Asian-Australasian Flyway are provided.~~

~~B): on any other aspects of Strategy 4.10 national implementation:~~

B): 戦略 4.10 に関する国内の実施について、その他事項があれば記載する。